

教科書では、 学べないことも。

宇宙のまち大樹町で

唯一の高校が大樹高校です。

全校生徒、約100人。

ふつうの子はひとりもいません。

全員が特別で、たったひとりの存在です。

いま、世の中が大きく変化しています。

これまでたりまえだったものが

みなさんが卒業するころには

新しくなっているかも知れません。

だからこそ私たちは、

人間としての「土台」を養う学びを大切にしています。

勉強や、部活や、就職のこと。

ひとりひとり違う夢や目標に向かうための、
助けになる力を身につけてほしいのです。

先生が教えるだけではありません。

地域で活躍する先輩たちも、

ふたつとない豊かな自然も、

このまちの全部があなたの頼れる教材です。

これから先の人生で、きっと何度も思い出す。

そんな3年間があなたを待っています。

令和6年(2024年)年度「新時代に対応した高等学校改革推進事業指定校発表会

令和6年(2024年)9月26日(木)北海道大樹高等学校

1 北海道大樹高等学校の基本情報

大樹町にある創立76年の唯一の高校



町内の「北海道スペースポート (HOSPO)」



道の駅に展示されている民間初の
打上げに成功したロケットMOMO

大樹町について

人口: 5,307人(令和6年7月現在)
位置: 東は太平洋、西は日高山脈に接し、
中央部は広大な十勝平野
アクセス: 蒂広空港から車で40分程度
蒂広市から車で50分程度

産業:

- 農業を中心に漁業、林業を基幹産業として発展
- 1980年代から、官民一体となって「宇宙のまちづくり」を推進
 - ・町内の「北海道スペースポート(HOSPO)」で、JAXAをはじめとして、民間企業や大学等により様々な実験が実施
 - ・宇宙の総合インフラ会社のインターラテクノロジーズなど企業が立地



国道沿い設置の「北海道大樹高等学校活性化推進協議会」による看板

大樹高校入学者数市町村別実績

町村名	区分	R4	R5	R6
大樹町	中学卒業数	44	44	47
	地元進学率	34.1%	45.5%	40.4%
	高校入学者	15	20	19
忠類地区		4	3	1
	高校入学者	2	4	1
		4	5	3
	広尾町	1	1	0
	その他	1	0	1
大樹高校入学者計		27	33	25
クラス数	(現3学年)	(現2学年)	(現1学年)	
	3年	1	1	1
	2年	1	1	1
1年		1	1	1

2 特色ある教育内容① 概要

共生
共創

スクールポリシー

特徴的な取組

令和6年度（2024年度）の指導上の重点目標

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動及び主体的・対話的で深い学びのある授業により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

大樹学 Plus

「総合的な探究の時間」における小・中学校の 「大樹学」にPlusして実施する探究的な学習

- ☆ 1年生…インターンシップを中心に社会と自分との関わりを探究し、プロセス（情報収集、整理、分析、まとめ、表現）の土台を構築
- ☆ 2年生…台湾見学旅行を核とした異文化体験による、国際理解、多様性・多文化共生社会の理解を深化
- ☆ 3年生…町活性化プロジェクト（地域探究学習）及び高校生議会に参加し、課題解決能力や主体的な社会参画意識・郷土愛を醸成

大樹高STEAM

高大連携や地域航空宇宙産業などと連携した教科横断的な学び

- ☆室蘭工業大学と提携した、小・中学校における実践を踏まえた体験的なモノづくりの出前授業による課題発見・解決する思考（デザイン思考）の育成
- ☆航空宇宙産業関連企業と協働した情報分野に関する出前授業による目的までの効率的なルートを考え、試行錯誤しながら最適ルートを導く思考（プログラミング思考）の育成

T-Plus

(Taiki Personal level up seeking) 進路実現に向けた 手厚いサポート

- ☆進学講習等
- ☆就職面接指導等
- ☆スタディサプリ

大樹スタンダード 生徒が学びたくなる授業づくり

- ☆誰もがわかる授業づくり、授業の環境づくり
- ☆指導と評価の一体化による授業改善
- ☆各教科における協働的な学び
- ☆コミュニケーション・スキル・トレーニング

参画
支援

- ☆入学時諸費用
通学費助成
- ☆ICT機器貸与
- ☆資格試験検定
試験費用助成等

コーディネーター



支援
コソーシアム

恵まれた豊かな自然と最新の航空宇宙産業を誇致した町づくり

町議会、役場、教育委員会、大樹高校振興会、大樹高校活性化推進協議会・ワーキンググループ、学校運営協議会、小中高管理職連絡会議、小中高連携教育推進委員会など

インターテラテクノロジズ、大樹町商工会、地域農業関係者、漁業関係者、観光関係者、地域おこし協力隊、社会福祉協議会など

室蘭工業大学・JAXA・JICAなど



2 特色ある教育内容②-1 「総合的な探究の時間」と学校設定科目「地域デザイン」概要

大樹高校 「総合的な探究の時間」及び学校設定科目「地域デザイン」の概要

- ## 1 育成を目指す資質・能力（スクール・ポリシー）

- ①共生：自他を尊重する豊かな心を持ち、多様な人々が共に生きる共生社会を支える人材となる生徒
 ②共創：自学と探究する力を持ち、主体的に地域共創へ参画し、新たな価値を創造していく生徒

- ## 2 総合的な探究の時間における育成を目指す資質・能力

- ①課題発見・課題解決能力 ②自己発信力 ③キャリアプランニング能力

- ### 3 地域デザインにおける育成を目指す資質・能力

- 共生：①自己と他者を大切にする心 ②他者と協調する力 ③地域を支える力

- 共創：①自ら学ぶ力 ②探究する力 ③主体的に他者と地域に参画する力 ④価値を見出したり価値付けたり価値を創造する力

年間計画概要

総合的な探究の時間

地域デザイン

1年

2年

3年

振り返り

自己分析

台湾に係る課題設定

台湾見学旅行に係るまとめ、報告会準備、報告会

台湾見学旅行に係る論文形式のまとめ

大樹町議会傍聴

ライフプラン作成

高校生議会準備、高校生議会

町の仕事の調査・課題設定（福祉・教育・第1次産業・宇宙関連・商業・観光）

大樹町の課題について、台湾の大学生へのプレゼン準備

分野別グループ探究（前期で設定した課題について、調査、フィールドワーク、まとめ、報告）

個人探究における課題設定

個人探究（調査、フィールドワーク、中間まとめ、追加調査、報告会準備）

2 特色ある教育内容②-2 「総合的な探究の時間」と学校設定科目「地域デザイン」全体計画

「キャリアデザイン」全体計画

学校として育成を目指す資質・能力に関する方針						
1. 共生 自他を尊重する兼かん心を持ち、多様な人々が共に生きる共生社会を支える人材となる生徒						
2. 共創 自他で探求する力をもち、主体的に地域共創へ参画し、新たな価値を創造していく生徒						
1学年 (1単位)		2学年 (1単位)		3学年 (1単位)		
育成を目指す 資質・能力						
①課題発見・課題解決能力 ②自己実現力 ③キャリアプランニング能力						
目標						
①勤労や職業についての探究活動をとおして、自他を尊重する兼かん心を持ち、課題解決の手法を身に付ける。 ②インターンシップについて活動の成果をまとめて発表する力を身に付ける。 ③自身の興味、関心と、勤労や職業との関わりを見つけるうとする。						
月日	内容	時数	内容	時数		
4月第2週	オリエンテーション	1	オリエンテーション	1		
4月第3週			(自分の興味・関心に気付く)	2		
4月第4週			(自己分析)	2		
5月第1週	キャリアデザイン入門 探究活動とは	2	(自分の興味・関心に気付く)	2		
5月第2週	キャリアデザイン入門 探究活動とは	2	(自分の興味・関心に気付く)	2		
5月第3週	キャリアデザイン入門 探究活動とは	3	(自分の興味・関心に気付く)			
5月第4週	キャリアデザインとは 発表練習・発表	2				
5月第5週						
6月第1週			大樹町議会見学 一般質問準備	3		
6月第2週						
6月第3週						
6月第4週			進路別自己探求 (進路強化研修)	8		
7月第1週						
7月第2週						
7月第3週	インターンシップ説明	1				
7月第4週	職業体験会	2				
8月第1週						
8月第2週						
8月第3週						
8月第4週						
8月第5週						
9月第1週			高校生議会準備 (一般質問報告作成)	3		
9月第2週			高校生議会準備 (一般質問報告作成)	2		
9月第3週						
9月第4週						
10月第1週						
10月第2週	インターンシップ課題設定	2	台湾見学旅行事前学習 (課題設定・情報収集)	2		
10月第3週	インターンシップ課題設定	2	台湾見学旅行事前学習 (課題設定・情報収集)	2		
10月第4週			台湾見学旅行まとめ	3		
10月第5週			台湾見学旅行まとめ	2		
11月第1週	インターンシップ	12	台湾見学旅行まとめ	2		
11月第2週	インターンシップまとめ 見学旅行報告会参加	5	台湾見学旅行	4		
11月第3週	インターンシップまとめ	2	発表練習・報告会			
11月第4週	インターンシップ 発表練習・報告会	3				
12月第1週						
12月第2週						
12月第3週						
1月第1週						
1月第2週						
1月第3週						
1月第4週						
1月第5週			論文作成・発表会	2		
2月第1週			論文作成・発表会	2		
2月第2週			論文作成・発表会	2		
2月第3週						
2月第4週						
3月第1週						
3月第2週	進路活動体験講話	1	進路活動体験講話	1		
3月第3週						
合計		40	35	30		

「地域デザイン」全体計画

学校として育成を目指す資質・能力に関する方針						
1. 共生 自他を尊重する兼かん心を持ち、多様な人々が共に生きる共生社会を支える人材となる生徒						
2. 共創 自他で探求する力をもち、主体的に地域共創へ参画し、新たな価値を創造していく生徒						
1学年 (1単位)		2学年 (1単位)		3学年 (1単位)		
育成を目指す 資質・能力						
①自己と他者を大切にする心 ②他者と協調する力 ③探究する力 ④地域を支える力						
目標						
1. 地域の多様な産業のよさを理解し、生活との関わりについて考える。 2. 他者と協働しながら地域の課題を把握し、課題の解決に向けて考え、実行・検証・改善を繰り返す。						
月日	内容	時数	内容	時数		
4月第2週	オリエンテーション	2	個人探究・発表会	2		
4月第3週			個人探究 (事前調査)	2		
4月第4週			個人探究 (事前調査)	2		
5月第1週	キャリアデザイン入門 探究活動とは	2	個人探究 (発表・まとめ)	6		
5月第2週	キャリアデザイン入門 探究活動とは	2	個人探究 (発表・まとめ)	6		
5月第3週	キャリアデザイン入門 探究活動とは	3	個人探究 (発表・まとめ)			
5月第4週	キャリアデザインとは 発表練習・発表	2	個人探究 (発表会準備)	2		
5月第5週			個人探究 (発表会準備)	2		
6月第1週			個人探究 (発表会準備)	2		
6月第2週			個人探究 (発表会準備)	2		
6月第3週			個人探究 (発表会準備)	2		
6月第4週			個人探究 (発表会準備)	2		
7月第1週			個人探究 (発表会準備)	2		
7月第2週			個人探究 (発表会準備)	2		
7月第3週	インターンシップ説明	1	個人探究 (発表会準備)	2		
7月第4週	職業体験会	2	個人探究 (発表会準備)	2		
8月第1週			個人探究 (発表会準備)	3		
8月第2週			個人探究 (発表会準備)	2		
8月第3週			個人探究 (発表会準備)	2		
8月第4週			個人探究 (発表会準備)	2		
8月第5週			個人探究 (発表会準備)	2		
9月第1週			個人探究 (発表会準備)	2		
9月第2週			個人探究 (発表会準備)	2		
9月第3週			個人探究 (発表会準備)	2		
9月第4週			個人探究 (発表会準備)	2		
10月第1週			個人探究 (発表会準備)	2		
10月第2週			個人探究 (発表会準備)	2		
10月第3週	インターンシップ課題設定	2	個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
10月第4週	インターンシップ課題設定	2	個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
10月第5週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
11月第1週	インターンシップ	12	個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
11月第2週	インターンシップまとめ 見学旅行報告会参加	5	個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
11月第3週	インターンシップまとめ	2	個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
11月第4週	インターンシップ 発表練習・報告会	3	個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
12月第1週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
12月第2週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
12月第3週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
1月第1週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
1月第2週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
1月第3週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
1月第4週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
1月第5週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
2月第1週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
2月第2週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
2月第3週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
2月第4週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
3月第1週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
3月第2週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
3月第3週			個人探究 (課題設定・事前調査)	2		
合計		170	170	300		

2 特色ある教育内容③ 探究学習の実践例

TAIKI HIGH SCHOOL

探究成果 発表会

タイムスケジュールとテーマ↓

10:05-11:00

1. 学生が気軽に乗れるバスをつくりたい
2. 多くの観光客に行ってみようと思われるまちづくりをするには?
3. 18歳以下の遊び場について
4. 移住者を増やすためには?
5. 子どもたちの土日の移動手段

11:10-12:15

6. 大樹町の福祉を充実させたい
7. 道の駅の魅力を増やしたい!
8. 晩成温泉にもっと来てもらいたい!
9. 安くて質の良い給食を提供するには
10. 子どもも一緒にMovingInn!
11. ジェンダー(LGBTQ)への偏見や差別をなくすには?



発表者と発表内容

1. 学生が気軽に乗れるバスをつくりたい

発表者：川股 愛瑠奈・三谷 航大・山崎 永遠

帶広に行くためのバスの本数が少なく金額も高校生には高い、という課題意識から、町担当者との意見交換等を経て、乗り合いタクシーの可能性を検証しました。

2. 多くの観光客に行ってみようと思われるまちづくりをするには?

発表者：小原 弥生・松橋 杏名

大樹町のお祭りを盛り上げる具体策や、町の花であるコスモスを目にする機会を増やす施策を考え、実現可能性を検証しました。今後のアクションについてもお楽しみに!

1/18 (木)

この発表会は

大樹高校3年生の『総合的な探究の時間』の成果発表会です。生徒がみなさんから見たり、聞いたり、自分たちで検証した内容をもとに、自身の考えの変化や未来への提案など、各々の探究成果を発表いたします。

日時：7月18日(木)

9:45 開場

10:00 成果発表会スタート

12:20 終了予定

※終了時間は前後する可能性があります

場所：大樹高校 体育館

- お時間になりましたら、東側の階段玄関より入りください。体育館入り口で名前をお願いいたします。
- 休講が継続な方は参加をご遠慮いただく場合がございます。



発表者と発表内容

3. 18歳以下の遊び場について

発表者：廣瀬 結菜・横山 孝也

昨年度の先輩のテーマを引き継ぎ、子どもの遊び場について検証しました。今年度は特に子育て世代からの希望があった室内の遊び場について、子育て世代の方々とのディスカッションを通じて具体的な実現方法を検討しました。

4. 移住者を増やすためには?

発表者：近藤 紗矢・坂本 大陽

大樹町の移住者を増やすことをテーマに、移住コーディネーターの方から町の取り組みを聞き、移住者が増えている町との比較検証を行いました。

5. 子どもたちの土日の移動手段

発表者：太田 皓貴

普段スクールバスを利用しているが、土日の移動手段がないことに課題を感じ、スクールバスを利用している小・中学生にアンケートをとりました。土日の移動手段がないことで習い事などを諦めたことがあるかどうか、また土日にバスがあるとしたらどのように利用したいかなどを調査しました。

6. 大樹町の福祉を充実させたい

発表者：辻 奈成・竹田 愛菜

理学療法士を目指す中で、リハビリを必要とする人だけでなく、ケガの予防などで理学療法士が活躍できる可能性を探りました。また、大樹町の子育て支援を充実させるため、他町村の活動について調べて大樹町との比較を行いました。

7. 道の駅の魅力を増やしたい!!

発表者：豊田 碧・中田 健太・林 典行

道の駅を人が集まる場所にするために、道の駅で提供できる飲食メニューについて検討しました。実際にある設備でできることをふまえ、友好姉妹都市である台湾を感じられるメニューなどを検証しました。

8. 晩成温泉にもっと来てもらいたい!

発表者：山田 侑奈・押切 マオ・寺嶋 かこ

大樹町の観光スポットである晩成温泉の知名度をあげる施策として、道の駅で販売している晩成温泉の素を使った足湯体験を企画し検証しました。

9. 安くて質の良い給食を提供するには

発表者：小室 茉央・杉森 雛梨

安くて質の良い給食を実現することをテーマに、給食の担当者の方に現在の取り組みについて聞き、小・中・高校生にアンケートをとりました。ひとつの施策として嫌いな食べ物を残さず食べられるようなメニューや調理方法について検討しました。

10. 子どもも一緒にMovingInn!

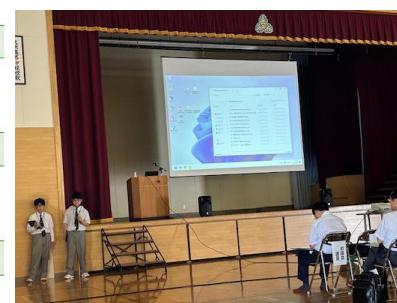
発表者：岡本 鈴音・佐藤 亮吾・清水 泰成

大樹町の自然を生かした面白いものをつくりたい!というテーマで、町内で自然を生かした宿泊事業を展開している場所を視察させていただき意見交換をしました。自然を生かして子どもが遊べる遊具について考え、実現可能性を検証しました。

11. ジェンダー(LGBTQ)への偏見や差別をなくすには?

発表者：北村 七海・遠藤 花

授業でSDGsについて学ぶ中で、日本の順位が低いジェンダーギャップについて着目し、特にLGBTQのためのパートナーシップ制度等の導入について他町村の事例を調べました。当事者の方へのインタビューや小・中・高校生に意識調査を行い、大樹町の人権擁護委員の方々と意見交換を行いました。



2 特色ある教育内容④ 生徒の学ぶ意欲を持続させるための工夫

(1) 校内体制の整備

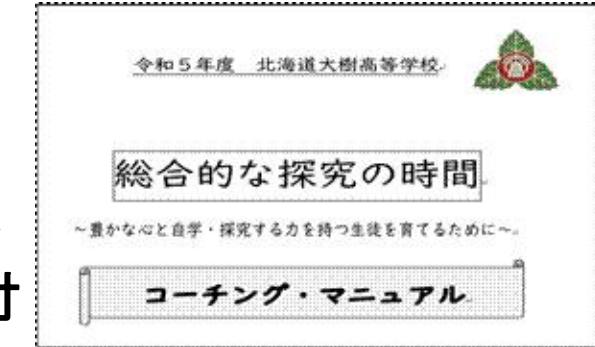
- 地域探究委員会(委員長の教諭、教頭、教務部長、進路指導主任、コーディネーター)を中心とした企画・運営により、一貫性・継続性を担保
 - ・教諭1名が担当する2つ程度のグループを決め進行を見守り
 - ・地域探究委員会と該当学年が、実施前・実施後、打合せを繰り返しながら進行

(2) 教員間での一致した指導方針の元で指導

- コーチングマニュアルの作成・共有
- 発表会をうまくまとめるためではなく、課題を発見する力など育成すべき資質・能力を身に付けさせるために伴走型の支援を実施
 - ・生徒が自発的に探究できる課題発見を重視
 - ・多くの時間をかける必要性

(3) 振り返りの時間の確保

- ICTを使った相互評価や紙のワークシートでの振り返りの蓄積



2 特色ある教育内容⑤ 継続的な教科横断のための工夫

(1) スクール・ポリシーと結び付けた計画などの作成

○ スクール・ポリシーである「共生」「共創」に基づいた「総合的な探究の時間」の計画及びマニュアルの作成

○ 「共生」「共創」に基づいた各教科の单元配列表の作成(教科別、テーマ別)

2023 教科等横断型学習 単元配列表				
テーマ	時期	国語	地歴・公民	数
共生社会	1年生	JICA エッセイコンテスト (現代の国語)	音楽の歴史 (歴史総合)	
	2年生			
	3年生	JICA エッセイコンテスト (現代文B)	社会倫理 (倫理)	
地域共創	1年生		地方政府 (公共)	
	2年生		地方政府 (政治・経済)	
	3年生		地方史 (日本史A)	

学年	月	国語	地歴・公民	数学	理科	進路行事	総合的な探究の時間		探究の軸	LHR	学校行事	保健・体育	音楽	英語	家庭	商業・情報
							キャリア活動	探究活動								
1年 (基礎)	2~3		課題研究の方法論の学習	課題学習 (データの分析)	化学が拓く未来		進路活動体験講話 企業説明会		共生社会・地域共創		宿泊研修		オススメ曲の紹介 (プレゼン)			
	12~1				進路希望調査 基礎力診断テスト 冬期講習		インターンシップ 報告会				体育大会		ライティング力 の構築	調理実習 食育講座 (グループ活動)	インターンシップ 報告会 発表資料作成	
	10~11	リテラス検定 に向けた学習		課題学習 (三角比)			インターンシップ リテラス検定 IST・JAXA 講座			CST②	生徒総会 合唱祭		合唱祭に向けて	被服実習 ユニバーサル デザイン		
	8~9	読書感想文		課題学習 (2次関数)		基礎力診断テスト	学校説明会	防災教室			シェイクアウト		合唱祭に向けて	スピーチや会話 の基礎	介護に関する講話 SDGs 学習	
	6~7					夏期講習	高校卒業後の進路			選択科目説明	学校祭					情報を伝える
	4~5	JICA エッセイコンテスト		課題学習 (数と式)	科学と人間生活 (プレゼン)	進路希望調査 基礎力診断テスト	自分の適性について 働くことについて			CST①	生徒総会 入学式	集団行動 安全確保		英語による 理解・表現の基礎	家族関係	情報で 問題解決を行う

3 新学科設置に際して苦労・工夫したこと

(1) 新学科に対する町民の誤解が生じたこと

「宇宙に特化した学校になる」「大学進学できなくなる」など、町民の誤解が生じた

- (対応) ○ 道教育委員会、町教育委員会と連携した新学科説明会の実施
○ 近隣中学校への説明の繰り返し
○ 学校案内パンフレットの工夫
○ 新聞の折り込み広告などの活用など広報活動の推進

(2) 入学者数の伸び悩み

地元中学校から、通学可能な私立高校への進学者数が増加

- (対応) ○ 町と連携して道外からの入学生の募集

活動を開始

- 更なる学校の魅力化の推進
・大樹町の資源「宇宙」を活用した活動の場の設置

大樹町清流祭における宇宙の総合インフラ会社インターラテラテクノロジーズのブースの手伝い



4 指定終了後の取組の継続について

(1) 取組継続にかかる費用の確保

- 特に、コーディネーターの費用について、学校から道や町への継続的な働きかけ
- 町から道教委への働きかけの継続

(2) 組織的な取組の構築・推進

- これまで培ってきた探究学習の取組が継続・発展するように委員会や分掌を中心とした運営体制の構築
- 普通教科・科目においても探究的な学びなど授業改善が進むよう分掌を中心とした研修会の計画的・継続的な実施
- 本校で働きたい教員の確保
 - ・道教委の教員に関するマッチング事業の活用
 - ・働きやすく、やりがいを感じられる職場づくり

(3) 町との連携の継続・発展

- 大樹町活性化推進協議会ワーキンググループを中心とした連携